

# 平成 23 年度事業報告

平成 23 年 4 月 1 日から

平成 24 年 3 月 31 日まで

## 事業の概要

松崎町の文化・体育施設等を活用して住民の生活文化の向上と地域の活性化を図ると共に施設の効率的な管理運営を行い、もって住民の福祉の増進に寄与することを目的として振興公社は設立されました。

本年度は、指定管理者制度に基づき指定された農村環境改善センター、伊豆の長八美術館、重要文化財岩科学校、明治商家中瀬邸、民芸館、道の駅花の三聖苑伊豆松崎、公共の宿伊豆まつざき荘の管理運営に努めるとともに、町が提唱するグリーンツーリズム推進事業を受託し、都市と地方の共生、地域の活性化が図れるよう事業展開をしました。

また、公益法人制度改革への対応については、平成 25 年の期限内に新法人への移行にむけ協議を行いました。

### 1. 地域活動情報の収集及び提供

#### ① 観光情報の収集及び提供

観光施設や宿泊、交通機関等の入込状況を調査し、関係機関に情報提供しました。また、町内の観光情報等は温泉郷だよりとしてマスコミ関係者に発送しました。振興公社のホームページでは施設情報、イベント等タイムリーな話題提供を行いました。

#### ② グリーンツーリズム推進事業

町からグリーンツーリズム推進事業を受託し、町の自然を活かした体験型旅行を誘致するため、現在行われているプログラムや他の市町の協議会での事例を参考に新たなプログラムの開発や観光資源の発掘を目標とし、また、地域の情報の収集及び提供に努め各機関との連携を図りながら事業を進めました。

昨年度から取り組んでいる子ども農山漁村交流プロジェクトでは、農林水産省関東農政局の食と地域の交流促進対策交付金交流促進計画が採択、承認されました。公社としては「ギュッと凝縮！農山漁村 - まるごとふるさと自然学校 -」のパンフレットを作成し、静岡市校長会、JTB 教育旅行、近畿日本ツーリスト教育旅行担当者等に配布、PR を行いました。10 月に実施した静岡県農山

漁村交流プロジェクト支援事業（マッチングモニターツアー事業）では、開催後、三島市の中学校から平成 24 年度に宿泊体験を行いたいとの申し出があり、学校訪問を実施しました。

更に、体験型旅行の取組みとして伊豆半島ジオパーク構想推進のため伊豆半島ジオガイド養成講座に参加するとともに、松崎町のジオガイド育成の一環として町並み散策の案内で活躍している「ふるさとガイド松崎」のガイドを対象に松崎町ジオガイド研修会を開催しました。

### ③ 料理教室の開催

本年度は3人の講師を招き、カロリー計算や栄養バランスに気を配った和食やホテルの洋食メニュー、お菓子作り等の内容で第 25 期の料理教室を開催しました。健康に留意しながら、且つ家庭でできる本格的な料理、宿泊施設にも対応できる料理をテーマに潤いある食生活の意識の高揚を図りました。

■ 料理教室開催回数 洋食 3 回・和食 3 回・菓子 2 回 合計 8 回

■ 受講者 各回 20 人募集（延べ 108 人）

| 実施日      | 内 容 | 参加人数 | 会 場      |
|----------|-----|------|----------|
| 6 月 16 日 | 菓 子 | 18 人 | 環境改善センター |
| 7 月 13 日 | 洋 食 | 13 人 | 環境改善センター |
| 10 月 7 日 | 和 食 | 14 人 | 環境改善センター |
| 11 月 8 日 | 和 食 | 13 人 | 環境改善センター |
| 12 月 7 日 | 菓 子 | 13 人 | 環境改善センター |
| 1 月 18 日 | 洋 食 | 13 人 | 環境改善センター |
| 2 月 17 日 | 和 食 | 11 人 | 環境改善センター |
| 3 月 14 日 | 洋 食 | 13 人 | 環境改善センター |

### ④ 体験教室の開催

伊豆の長八美術館では、本年度も漆喰饅絵、栄光球体験教室を開催しました。当美術館ならではの教室は毎回好評であり、学校教育とも連携を図りながら事業展開しています。

道の駅花の三聖苑では、夏休み期間中に鮎のつかみ取りを開催しました。夏の風物詩として定着し、参加人員は昨年度を上回る結果となりました。

| 実施日      | 内 容     | 参加人数    | 会 場       |
|----------|---------|---------|-----------|
| 年間 67 日間 | 漆喰饅絵教室  | 225 人   | 伊豆の長八美術館他 |
| 年間 58 日間 | 栄光球教室   | 827 人   | 伊豆の長八美術館他 |
| 夏期 25 日間 | 鮎のつかみどり | 1,702 人 | 那賀川       |

⑤ 婚活活動支援事業の開催

松崎町の出会い創出事業として、町内の未婚男性と町外の未婚女性の出会いのきっかけをつくるため事業展開しました。お菓子作りや施設見学、伊豆まつざき荘での交流会等終始和やかな雰囲気の中2日間の日程を終えることができました。

| 実施日       | 内 容                    | 参加人数         | 会 場                              |
|-----------|------------------------|--------------|----------------------------------|
| 10月15、16日 | お菓子作り<br>美術館見学<br>交流会等 | 男性9名<br>女性9名 | 環境改善センター<br>伊豆の長八美術館<br>伊豆まつざき荘等 |

⑥ グリーンツーリズム推進に協力

グリーンツーリズムの一環として、各施設においても下記事業を展開し推進に協力しました。

- 公共の宿伊豆まつざき荘 ほたる鑑賞会、ぶどう狩り体験  
わさび漬けづくり教室、棚田農作業体験  
農業振興会の朝市、お祭りひろば  
餅つき・餅まき大会
- 民芸館 田んぼを使った花畑へ出店、観光案内  
棚田田植祭へ出店、観光案内
- 重要文化財岩科学校開化亭 棚田の収穫祭へ出店、観光案内

2. 緑化事業の推進

環境改善センターをはじめとする各施設の館内や花壇、フラワーポット等へ草花を植え、利用者の心を和ませるとともに心身のリフレッシュに役立てました。

- 春植え ベゴニア・メランポジウム・サルビア・マリーゴールド・ポーチュラカ
- 秋植え ビオラ、ノースポール、キンセンカ、ナデシコ、ベゴニア

3. 文化的催事の受託及び協力

全国漆喰鏝絵コンクール作品展

期間 平成23年9月25日から10月31日まで

場所 伊豆の長八美術館特別展示室

第12回全国漆喰鏝絵コンクール作品展では、応募作品の中から入賞作品15点を伊豆の長八美術館へ展示しました。

- 期間入館者数 5,354人（常設展を含む）前年比1,563人減

#### 4. 公の施設の指定管理事業

指定管理事業の概要は、次のとおりです。

##### ① 環境改善センター

| 区 分   | 利用件数   | 利用者数    |
|-------|--------|---------|
| 文化ホール | 202件   | 13,371人 |
| 研 修 室 | 213件   | 5,400人  |
| 大会議室  | 244件   | 5,078人  |
| 和 室   | 185件   | 1,571人  |
| 調理実習室 | 99件    | 1,140人  |
| ロ ビ ー | 248件   | 3,404人  |
| 合 計   | 1,191件 | 29,964人 |

松崎町農村環境改善センターの管理に関する基本協定書第6条別紙2「松崎町農村環境改善センター管理仕様書」の施設管理業務を行いました。

各会場の利用については、区長会や各種委員会及び集団検診といった行政関係の利用のほか、学校関係の展示会、町民グループによる体操サークル等活発な利用がされました。文化ホールでは「文化協会芸術祭」「ピアノ発表会」といった恒例イベントや社会福祉大会、中高合同美術書道展が開催され、研修室・大会議室、調理実習室では「ヨガ教室」「補聴器相談会」「料理教室」が開催されました。

##### ②伊豆の長八美術館

| 区 分  | 入館者数    |
|------|---------|
| 一般大人 | 35,498人 |
| 一般小人 | 1,005人  |
| 団体大人 | 2,934人  |
| 団体小人 | 145人    |
| 無 料  | 1,148人  |
| 合 計  | 40,730人 |

伊豆の長八美術館の管理に関する基本協定書第6条別紙2「伊豆の長八美術館管理仕様書」の施設管理業務を行いました。

平成23年度は、東日本大震災の影響からエージェント関係の団体入館者が半減し、年間入館者数は40,730人となりました。誘客対策としては、震災の影響の少ない静岡、浜松方面、名古屋、岐阜を中心とした中京方面へのエージェントセールスを実施するとともに、大阪での「ふじのくにしずおか観光大商談会」個別商談会で積極的なPR活動を行いました。

自主事業の漆喰鰻絵体験教室は、夏休み(116人)、冬休み(21人)をはじめ

年間 67 日開催、225 人の参加があり、また、JR 企画「旅市」や読売旅行からの取材を受けました。栄光球（エコダマ）体験教室は、夏休み（121 人）、冬休み（38 人）など、昨年を上回る 58 日開催、827 人となりました。

調査研究においては、伊豆屋伝八文化振興財団のご協力の下、常葉学園大学日比野秀男教授をはじめとした研究員により、町内はもとより東京千住橋戸稲荷神社、寄木神社、三島龍澤寺、戸田山城邸等大がかりな長八作品調査が行われました。これには美術館職員も同行し、有意義な研修の場となりました。

### ③重要文化財岩科学校

| 区 分  | 入館者数    |
|------|---------|
| 一般大人 | 19,927人 |
| 一般小人 | 749人    |
| 団体大人 | 3,101人  |
| 団体小人 | 0人      |
| 無 料  | 526人    |
| 合 計  | 24,303人 |

重要文化財岩科学校の管理に関する基本協定書第 6 条別紙 2「重要文化財岩科学校管理仕様書」の施設管理業務を行いました。

平成 23 年度の入館者数は、24,303 人、前年比 4,127 人減と美術館同様大きく減少しました。施設面では、入館者に対する資料説明を心がけるとともに展示ケース内の清掃や中庭の芝生の管理を積極的に行いました。シンボルである松の管理は樹木医に消毒や定期点検を委託し、消防設備や放水銃の点検については専門業者に依頼するとともに、職員による防災訓練を実施しました。

石部棚田収穫祭へ売店を出店し松崎の特産品の PR に努めました。また、開化亭では特産の川のりを使ったアイスクリームが評判となりました。

松崎の繭の歴史にちなみ、繭玉人形づくりの体験教室開催に向け準備を進めています。

### ④明治商家中瀬邸

| 区 分  | 入館者数    |
|------|---------|
| 一般大人 | 19,275人 |
| 一般小人 | 1,186人  |
| 無 料  | 807人    |
| 合 計  | 21,268人 |

松崎町営明治商家中瀬邸の管理に関する基本協定書第 6 条別紙 2「松崎町営明治商家中瀬邸管理仕様書」の施設管理業務を行いました。

平成 23 年度の入館者数は、21,268 人、前年比 1,234 人減となりました。3 館

共通券利用者減少による影響はありましたが、美術館、重文ほどの減少率にはなりませんでした。

離れギャラリーでは、観光協会主催「第9回伊豆松崎スケッチコンクール作品展」(9/12～10/2)、押し花教室に通う生徒たちによる「松崎押し花教室展」(10/4～11/30)が開催されました。また、それ以外の期間に「世界の中心で愛をさけぶ展」を開催したことが、入館者減少に歯止めをかけたと考えられます。テレビの再放送の影響もあり、町内撮影ポイントを散策する観光客は後を絶たず、セカチュウ人気の根強さが感じられます。

テレビ関係では、TV東京の「いい旅夢気分」「大人極上ゆるり旅」の撮影があり、雑誌では「旅行読売」「百楽」、新聞では「伊豆新聞」「静岡新聞」「北海道新聞」の取材に対応しました。

### ⑤民芸館

| 区 分     | 入館者数    |
|---------|---------|
| 喫茶ギャラリー | 2, 993人 |
| 合 計     | 2, 993人 |

松崎町営民芸館の管理に関する基本協定書第6条別紙2「松崎町営民芸館管理仕様書」の施設管理業務を行いました。

平成23年度の喫茶利用者は、2,993人、前年比10人減でほぼ前年並みの利用となりました。

本年度は、震災の影響で美術館への入館者が減少していることから、積極的に観光キャンペーンへ参加しました。田んぼをつかった花畑やエスパルスドリームプラザ、東急田園都市線たまプラーザ駅、文化財シンポジウム、台湾キャンペーン等で松崎の見どころや食、遊、土産品をPRしました。

民芸館職員がサポートする歌声喫茶を環境センターで偶数月に実施し、年間269人の利用がありました。

### ⑥道の駅花の三聖苑伊豆松崎

|       | 区 分    | 利用・入浴者数  |
|-------|--------|----------|
| 天城山房  | 食事喫茶   | 21, 894人 |
| かじかの湯 | 町外大人   | 11, 480人 |
|       | 町外小人   | 914人     |
|       | 町内大人   | 17, 313人 |
|       | 町内小人   | 565人     |
|       | ボランティア | 22人      |
|       | 小 計    | 30, 294人 |
|       | 合 計    | 52, 188人 |

松崎町営道の駅花の三聖苑伊豆松崎の管理に関する基本協定書第 6 条別紙 2 「松崎町営道の駅花の三聖苑伊豆松崎管理仕様書」の施設管理業務を行いました。

平成 23 年度の利用実績は、天城山房では 21,894 人、2,392 人減、かじかの湯は、30,294 人、1,235 人減となりました。震災の影響で利用者はやや減少しました。

施設面では、トイレや駐車場を含めた環境美化に努めるとともに駐車場出入り口へ白線を引き事故防止につとめました。また、自動販売機を災害時対応機種へと変更し緊急時に利用できるよう整備しました。災害時には道の駅が活動拠点として注目されており、今後更なる整備が予定されています。

かじかの湯は、高齢者の福祉の増進につなげるために、男性 13 名女性 18 名の方々にボランティアとして携わっていただきました。本年度も地域の方々の憩いの場となるよう活動していただきました。

天城山房では、限定の“川のりしらすの山葵丼”が大変好評で、期間中松崎の特産品を使ったメニューとしてアピールしました。

夏季恒例の三聖塾では、三聖会堂をはじめとした施設を提供し、地域の子供たちが様々な自然体験活動を行えるよう協力しました。

その他、恒例の俳句の会、かご教室が開催されました。

#### ⑦公共の宿伊豆まつぎ荘

| 区分  | 区 分     | 付記             |
|-----|---------|----------------|
| 宿泊者 | 18,761人 | 部屋稼働率<br>53.3% |
| 休憩者 | 6,407人  |                |
| 入浴者 | 1,098人  | 人員稼働率<br>37.5% |
| 計   | 26,266人 |                |

本年度は、当初より東日本大震災の影響で計画停電や津波関連の風評被害を受け上半期の利用人員はマイナスとなり、下半期については改善の兆しがみえてきましたが依然として厳しい状況は続き、結果として宿泊者数は 18,761 人、宿泊利用率 37.5%、全体の利用人員で 614 人減の前年比 96.2%という結果となりました。

特に下半期は新規宿泊者の拡大と売上目標の実現のため、3つの営業戦略を策定しました。

##### 1. ネット予約の強化

宿泊予約経営研究所と契約を締結し宿泊率を昨年比 120%の目標に掲げ、シェアの高いじゃらん、るるぶに加え、今年度は楽天トラベルとの新規契約を締結しました。また、ホームページのアクセス数アップのため三島信用金庫より Web

アドバイザーを招き3回の技術的講習指導を受けました。Web サイト強化策として自社ホームページや販促用リーフレット及びパンフレットへのQRコードの表示や、地域情報を配信し認知度向上のためツイッターやFacebookの掲載をしました。今年度も国民宿舎協会ホームページへのバナー広告掲載を継続しました。

## 2.公共の宿の強みを生かした営業

県内自治体へのPR強化のため県民プランを作成し、ダイレクトメール発送や各市町共済担当者訪問、県内以外の全国市町村職員組合との新規契約の締結（山梨県と神奈川県）、また、県内の市町職員年金者連盟との利用契約の締結や広報誌の掲載、ホームページの掲載を実施しました。

## 3.静岡県自動車学校との連携

静岡県自動車学校松崎校の合宿受入は今年度の営業活動の新しい試みです。地元企業との共同営業として関東圏大学訪問、日帰り入浴の受入を実施しました。また、学生及びビジネスの方の要望として特に多い館内無線LANの環境整備を行い利用客増進に努めました。

その他、団体客集客については、はとバス、クラブツーリズム、名古屋中京方面、大阪へのエージェンツセールスを実施し、個人客集客のため観光プロモーションへの参加やマスコミへのセールス、友の会、ネット会員への販売促進を実施しました。

## 5. 松崎町イベントへの協力

| 事業名       | 実施状況・内容 |            |    |
|-----------|---------|------------|----|
|           | 実施日     | 場所         | 備考 |
| 夏まつり      | 8月16日   | 松崎海岸周辺     |    |
| 長八まつり     | 9月25日   | 伊豆の長八美術館周辺 |    |
| 文化財シンポジウム | 10月8日   | 環境改善センター   |    |